

「堂々川;人も自然も生きている」

2021(令和3)年5月25日 堂々川ホタル同好会情報紙 2021年度第1号 (創刊より197号)

1. 5月16日早朝からの小雨の中5月の定例会に会員12人が参加。今年は幼虫の上陸数から判断するとホタルが飛ぶ数は多そう。ホタルの観賞ができる最小限の安全確保、草刈りなどの整備を行い、彼岸花の生育を阻むオオキンケイギクなどを除去
2. コロナの感染拡大に考慮してホタルの観賞に来てくださいとPRは出来ない。会員も参加は自粛して欲しい。夜の説明・駐車案内他はしないことにします。ごみ拾い?ウソ
3. 今年度のタイトルは小学生の書いたポスターを参考に決めました。看板右下掲示!
4. ホタルの数を増やすためにJA婦人部からボカシを買いテスト。効果が出たもよう
5. 堂々川には貴重な自然が残っており、確認を急ごう。絶滅危惧種や準絶滅危惧種が多い
6. 相変わらず猪の被害は多いが、ピンクリボンと竹酢入り手作りリボン、光でテスト中
箱罟は藤田さんの個人の持ち物をお借りしています。寄贈の話もあるがどうするか



一番砂留東に集合の会員 12人



5番砂留下方の草刈り



ホタルがたくさん飛ぶ川原の整備



「ホタルと花と砂留と」の右下参照



綺麗になる1番砂留周辺



5番川原イボタ蛾の幼虫



5月22日夜 6番砂留でホタル発見



堂々川道沿いに10本の幟設置



淀ヶ池東砂留の水鏡

7. 次回定例会 集合時間場所 6月20日 (日) 8時00分

作業内容 ごみ拾い・草刈り 幟撤去 草除去 自然観察 球根植栽

定例会はどなたでも参加できます。参加者は保険に入る為名簿にお名前を記入して!

終を流れ解散にしているがコロナ問題が解消次第、問題解決をする輪を作って解散

8. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

堂々川ホタル同好会の出版物

2006年からほぼ毎月発行の堂々川ホタルの会報。最初の1年は「ホタル恋」沢山ホタルが飛んで欲しいと夢を載せて発行、2年目は「堂々川ホタルン」ホタルにルンルン気分で会いに来いと祈願して書いていました。2008年は「黄色い光に魅せられて」以降なんと始めてから15年が経過。回数は増えてあとわずかで200回です！この頃から記録を残そうと冊子の発刊をした。「ホタルについて」続いて「ホタルと環境について」。今でも東京神田の古本屋で1冊2000円もするという「堂々川今昔」、2014年大阪府の環境施設のトップが定年で地元に戻られ、会に入会。「堂々谷の生き物」を書かれた。この冊子の書かれた生き物を基準に、この度福山大学が本気で堂々川を調査されると聞いています。

2016年全国砂留シンポジウムを主催したが資金不足で3つの団体が共同で発刊した「御領発古代ロマン；遺跡・古墳・砂留」の冊子。これはまだ御領の古代ロマンを蘇らせる会が在庫を持っていると聞いています。2018年にはガバメントクラウドファンディングの返礼品として御領・中条の花崗岩地帯に作られて下流の人々の安全を守っている砂留（神辺町御領・中条に実在のすべての砂留を数人で歩いて調査した記録本）を発刊しています。以下は冊子の内容や表紙です。残念なのはほとんどが絶版になっていて手に入らないことです。会報は広島県立中央図書館、福山市神辺図書館ではほとんどの号が見られると聞きました。



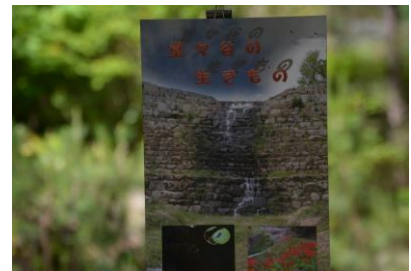
会報「ホタル恋」
1年目の会報



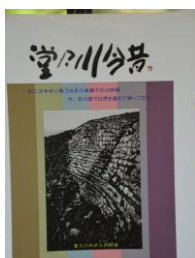
会報「ホタルン」
2年目の会報



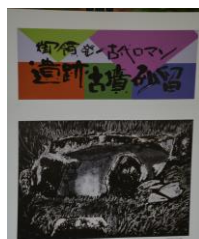
ホタルについて



冊子 堂々谷の生き物
旧神辺町の小中学校へ寄贈



冊子 堂々川今昔



冊子・遺跡・古墳・砂留



冊子 神辺の砂留

上記冊子の「堂々川今昔」と「神辺の砂留」と「堂々谷の生き物」を譲っても良い方がおられれば同好会で買い取りさせていただきます。

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒
アドレス dodogawa.com

